

2019 男女共同参画市民フォーラムinいわみざわ

『絆ではぐくむ共生社会』

令和元年6月29日（土）、北海道グリーンランドホテルサンプラザにおいて、男女共同参画市民フォーラムが開催されました。

今年は、前尼崎市長の白井 文さん（前）を講師にお迎えし、『男女共同参画社会をめざして』と題してお話しいただきました。講演前には、第四回男女共同参画川柳コンテスト表彰式を行いました。



■講演「男女共同参画社会をめざして」前尼崎市長 白井 文さん

◆誰にいつどんな形でバトンを渡すのか

私は市長に当選した時から、いつどんな形でバトンを次の人に渡そうかと思っていました。2期目で退任しようと思ったとき、1期目の市長選挙から手伝ってくれていた事務局スタッフの女性が、政治に目覚めて県議会議員になっていたのだから、次の市長候補に考えました。

「市長はやりがいがあるよ」「市長にしか会えない人達と会えるよ」「市長になったら見える景色が違うよ」と言い続け、嫌なことやしんどいことは一切言いませんでした。

よくリーダーの方が次の成り手がいないとおっしゃいます。苦労している姿だけを見せていたら誰も引き継いでくれない。「楽しいわ」「やりがいがあるわ」というオーラを出し続けていると、何かやってみようかなと思ってくれる人が出てくるもの。次期市長候補に考えていたその女性は、私が「全面的に応援するから」と言ったら、「白井さんの後やってみようかな」と引き継いでくれて、尼崎市は5期連続女性市長となりました。



◆リーダーシップを発揮してください



いつも周りの優秀な女性たちに「そろそろリーダーとなって引っ張っていく時代よ、リーダーシップを発揮してね」とお願いをしますが、皆、口をそろえて「自信がない」「まだまだ無理」と言われることが多い。そういう女性たちは勉強も努力も吸収もしているのに、いつまでも「自信がつかない」とは言ってくれない。多分、女性は目立ちすぎると嫌われるみたいな社会のすきこみが小さい時からあって、遠慮している部分もあると思います。

男性の方々は、諦めずに女性に「出来る、大丈夫、見ている、応援している、一緒にやろう」とエールを送り続けることも大切。女性の皆さんは、「一歩踏み出そうよ」「行動をしてみよう」ということをお願いしたいです。

いろんなところで女性が活躍している、男性が活躍している。男性も女性もフィフティフィフティの姿を見せることが次の世代を育てること、未来を創ることになっていくと思いますから、そういう意味でも“未来の責任は今の私たちにある”と思います。

◆どうすればリーダーシップが発揮できるのか

市長に就任して本当に大変だったと思うことのひとつが、2005年に起きたJR福知山線の脱線事故。

事故現場の近くに会社がある日本スピンドル製造(株)の社員は、異常な衝突音に気づき、すぐに現場に駆け付けました。悲惨な状況を目の当たりにした社員は会社に戻り、重要な経営会議中の社長に救助活動をさせてほしいと懇願しました。すぐに会議を中断し事故現場を確認した社長は、全社員を一同に集め、操業を中断して救助活動に当たるように命令しました。工場内にあるものはすべて使用してよいこと、安全面に注意すること、チームを作って救助することを指示し、社員を事故現場に送り出しました。社員全員が事故現場に到着したのは事故発生から20分後。日頃から訓練をしたこともないのに、それぞれが現場で何をやるかを判断し、見事なチームプレーで救助活動を行いました。

社員たちも素晴らしいですが、経営状況が良くないのに操業を中止した判断と部下への確かな指示を出した社長の対応が大変素晴らしいと思いました。そして、この日何もできなかった自分の行動と比較して



恥ずかしくなりました。この事故をきっかけにどうすればこのようなリーダーになれるのか、どうすればこんなリーダーシップが発揮できるのか、答えを探す旅が始まりました。

そして出てきた答えは、素の時に自分を磨いておくということ。本当に難しい決断をする時のリーダーに時間はないし、誰かに聞いたり確認したりする余裕はない。素の自分で対応するしかない。では、素の自分を平常時にどう鍛えたらいいのか。私は市長という仕事をさせていただきながら、その答えを“見つけたい”という思いに駆られました。

◆組織にはレジリエンスが重要

事故の分析や今後の安全向上に向けて立ち上がった安全フォローアップ会議で、JR西日本の組織的な問題点が浮き彫りになりました。その会議の中で、すべての組織にはレジリエンス（交渉力、困難を乗り越える力）が重要なのではないかと議論されました。

レジリエンスを鍛える重要な視点は4つあります。

1 点目は自分の頭で考える。部下に、組織に対してシミュレーションをしてもらうことも重要。2 点目は多様性。いろんな価値観の人たちが、問題意識を持って意見を言う。新しい発想、未来思考で女性にはメッセージを出していてもらいたい。3 点目は責めるよりほめる。しっかりと、ひとり一人見てあげることが上手にほめることにもつながる。4 点目はコミュニケーション力。いかに周りの気持ち、意見を引き出すのかということ。それがレジリエンスを組織として高めることにつながります。

最後に白井さんは、会場の皆さんは十分立派なリーダーシップを発揮されていると思いますが、ますます地域社会を巻き込んで、素敵な街にさせていただくためにお力を発揮していただけましたら嬉しく思いますと話されました。白いスーツ姿ではつらつと登壇した白井さんの、関西人らしい快活な話し方に、会場の参加者はたちまち引き込まれ、あっという間の1時間30分でした。



☆フォーラム参加者の声（一部抜粋）☆



- 具体的な事故例から導き出したレジリエンスを高めるという内容は分かりやすくとても良かった。自分に置き換えて考え行動していきたい【60代女性】
- 率直な話しぶりにおおいに感銘を受けました。リーダーシップは、コミュニケーション能力も必要等々、大変参考になることがありました。【70代以上女性】
- 白井さんの経験からのお話はとても参考になりました。「素の時に自分を磨いておく」は勉強になりました。【60代男性】
- 尼崎市と言えば、JR事故を連想するのですが、貴重な体験談と男女共同参画をからめたお話が良かった。【50代女性】

■第四回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

平成31年4月1日から5月10日まで募集した男女共同参画川柳コンテストの表彰式を行いました。

今年は、33名から94作品の応募があり、厳選なる審査の結果、大賞1点、入選5点が選ばれました。みなさん、ご応募ありがとうございました。

- 大賞 平等の 生き方 しっかりと 子に繋ぐ 小林 英子 さん
- 入選 分担で 育児も家事も 自然体 大野 美奈子 さん
- 男女参画 一たすーが 三になり 高松 時子 さん
- 夢がある そこに男女の 壁はなし 平山 紗也華 さん
- ママ仕事 美味しく出来た パパコック 梶田 静子 さん
- まだ若木 かけ声だけでは 根ははれず 宮部 留美子 さん

